

令和7年度版

中学生用 男女共同参画教材

年 組 番

名 前

滋賀県

目次

P 1 ~

はじめに 男女共同参画を学ぶうえで知っておいてほしいことを紹介しています。

P 3 ~

技術・家庭科（家庭分野） 家庭の家事分担の役割を振り返りながら男女ともに協力して生活を築くことの大切さについて学びます。

P 7 ~

キャリア教育 「自分らしさ」を振り返りながら、性別で生き方を制限することなく生きていくことの大切さを学びます。

P 11 ~

社会科（公民的分野） 世界との比較から、男女が共に意思決定過程に参画することの大切さを学びます。

P 15 ~

資料編 本編に関わる参考データや資料、県内の取組を掲載しています。

※本データと別に「先輩からのメッセージ動画」があります。

はじめに

■男女共同参画社会の実現に向けて

男女共同参画社会の基本は、お互いを思いやる心であり、一人ひとりの多様性を認め合う気持ちです。性別に関わらず、ひとりの人間として尊重され、自分らしく生きることができる社会をともに築いていきましょう！

■男女共同参画と人権

人権とは、誰もが生まれながらにして持っている、人間として幸せに生きていくための権利です。この権利を尊重するには、誰もが思いやりの心もち、お互いの違いや多様性を認め合うことが必要です。

「男だから」「女だから」と性別だけで役割を決めつけることは、個人の個性や能力の発揮を阻害することに繋がります。一人ひとりが主体的な選択を尊重され、性別を問わず、多様なライフスタイルを選択できることが大切です。

■ゴール5 「ジェンダー平等を実現しよう」

SDGsとは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。国連で採択された、2030年を達成期限としている世界共通の目標で、17個の目標から構成されています。「持続可能な社会・経済・環境」を目指して国連に加盟するすべての国が取り組むことを約束しています。



ジェンダー平等ってなんだろう？

「ジェンダー平等」とは性別に関わらず、平等に責任や権利や機会を分かちあい、あらゆる物事を一緒に決めてゆくことを意味しています。

このSDGsのゴール（目標）のひとつ「5. ジェンダー平等を実現しよう」では、すべての女性に対するあらゆる差別をなくすことや、政治・経済・社会の中で何かを決めるときに、女性と男性が同じように参加したり、リーダーになったりできるようにすること等を目指しています。また、「ジェンダー平等」は、ほかのゴールにも大きく関わっています。

たとえば・・・



すべての女の子と男の子が平等に無償で質の高い教育を、高校まで受けることができるようにする。

→日本は未だに大学進学率や学部ごとの学生数に男女差があります。すべての女性と男性が大学などの希望する進路に進学できるようにすることは、ひとりひとりが性別に関わらず活躍するための大きなカギとなります。



若者や障害のある方を含むすべての女性と男性にとって、働きがいのある仕事や、同じ仕事には同じ賃金が与えられるようにする。

→職場でセクハラを受けたり妊娠や子育てを理由に嫌がらせを受けないようにすることや、女性と男性の給料の格差をなくすことが重要です。

（参考）冊子「みんなで目指す！SDGs×ジェンダー平等」（男女共同参画推進連携会議 事務局：内閣府男女共同参画局）

■アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）

こんなことはありませんか？振り返ってみましょう。

- 家庭科は男子よりも女子の方が得意だと思う
- 体力を必要とする仕事は男子がするべきだと思う

果たして本当にそうなのでしょうか？

「アンコンシャス・バイアス（unconscious bias）」とは、無意識のうちにとらわれている思い込みや偏ったものの見方のことです。

環境や経験を通してつくられるもので、誰にでもあります。だからこそ、「自分にも思い込みがあるかもしれない」と意識し、気づこうとすることが大切です。

多様な価値観を認め合い、一人ひとりが異なる存在として受け入れられ、大切な一人として認められる社会の実現を目指しましょう。